

これならわかる「男女共同参画」

1. 現代日本の男女格差について
2. 男女共同参画のポイント

セミナー報告

職業体験 in 人権推進課
いずみさの女性センター

Fine

(No.40)

いずみさの男女共同参画つうしん

これならわかる 男女共同参画 「わかりにくい」を「わかりやすく」

平成28年11月26日(土)、女性センター主催で伊藤公雄(京都大学院文学研究科教授)さんを講師に迎え、経済の視点から男女共同参画について、ご講演していただきました。

1. 現代日本の男女格差について

世界からみた日本の現状

2016年3月国連の女性差別撤廃委員会から日本政府へ男女の格差への勧告がありました。日本は、2016年のグローバルジェンダーギャップ指数が、0.660(※1)で144カ国中111位(2015年は145カ国中101位)という低い結果でした。

政治参画の分野では103位です。特に女性議員の割合は、日本は9%と低く、25%を超えるイタリア、フランスには遠く及びません。フランスや韓国は、女性議員を増やすため、法律で女性議員の割合を決めています。日本でも、決めたらいいのではという意見もあるのですが、実際には法整備は進んでいません。

経済の分野では118位です。日本の女性管理職の割合は11%です。世界の平均は30%ですので、とても低い状態です。

教育の分野では76位です。小・中学校までは、進学率はほぼ男女平等ですが、大学になると男性より女性大幅に下回っています。日本には、いまだに女性だから大学に行かなくてよい(特に成績が低くなればなるほど)という性別で進学を決めてしまう考えがあるようです。

私たちは、
夫婦別姓だよ!



源 頼朝



北条 政子



伊藤 公雄さん

(※1)グローバルジェンダーギャップ指数とは、経済、教育、政治、保健 4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。簡単に説明すると男女平等の世界ランキングのことです。

昔の日本社会と女性の活躍

日本は昔から女性の活躍が遅れていたのでしょうか? もちろん男女の格差はありましたが、むしろ欧米社会よりも女性の活躍が目立つ社会でした。江戸時代までは、夫婦別姓でした。(有名なのが、源頼朝と北条政子です。)奈良時代から女性は読み書きができ、万葉集には一般女性たちの和歌も掲載されています。平安時代には女流作家もいました。

戦国時代に日本にやって来た宣教師たちは、日本の女性たちを見てびっくりです。たとえば、結婚した女性が財産を持っていましたし、女性から離婚も言い出せました。夫の許可なしに外出もできましたし、男性も料理をしました。また、江戸時代の男性は子守りもしましたし、職場に子どもを連れてきて仕事をするイクメンもいました。

中面へ続く